



2016年9月30日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	11,878円
純資産総額	4,710百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加に
より逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、
年率1.242%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	71.0%	18.8%
現金等	29.0%	-18.8%
構成銘柄	53社	+1社

分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)
0円	0円

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
0.56%	6.66%	▲0.12%	▲2.68%	18.78%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

9月は月を通して株式等組入比率を55%程度に維持することで、株価下落局面に対して守りの姿勢を貫いた後、月末(30日)に月初から株価が大きく下落していた銘柄を中心に20%程度一気に買い増し、月末の同比率を71.0%にしました。

年末にかけては、米大統領選挙(11/8)の行方、米金融政策(12/14)の動向など不透明要因がいくつもあります。また、日露首脳会議(12/15山口県)の内容次第では、来年国内政治が動く可能性もあります。仮に株価が下落する局面があれば、中長期目線で積極的に投資していくという考え方に変更はありません。

2017年以降は今年に仕込んだ株式が大きく飛躍していく見通しを持っています。「ザ・2020ビジョン」においては引き続き、中長期目線での変化に着目した企業を厳選してまいります。

今後ともよろしくお願いたします。

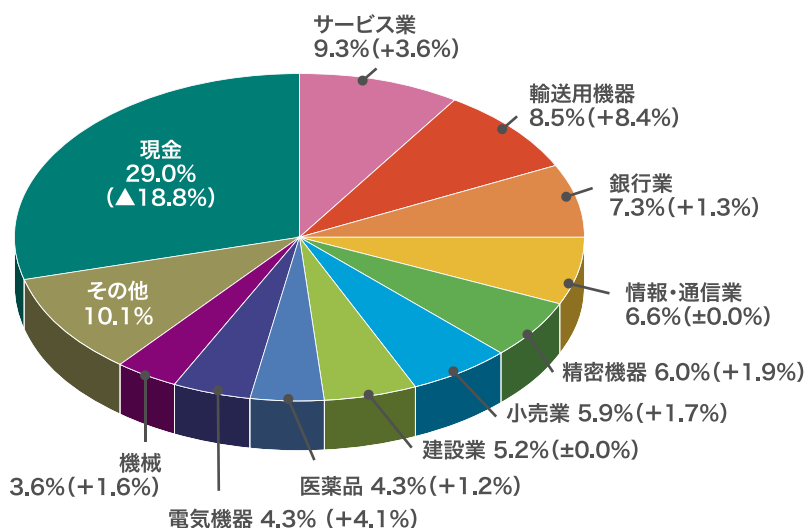


チーフポートフォリオマネージャー 糸島 孝俊

市場概況

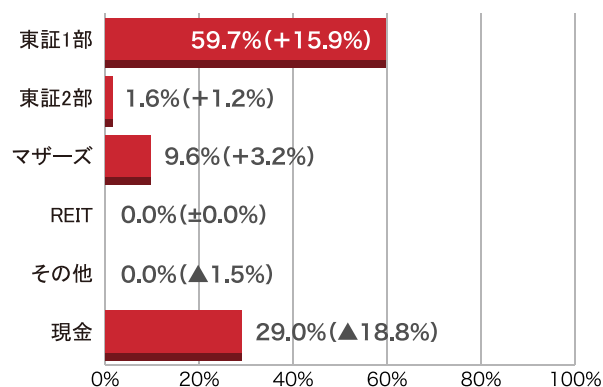
9月2日の米雇用統計を受けて円安・株高が進み株式市場は上昇してスタートしました。しかし、6日発表の米ISM非製造業総合指数が6年半ぶりの低水準となったことなどをきっかけに、米早期利上げ観測が後退して円高が急速に進行、原油安も相まって外需株や金融株を中心に売られる展開となり、日経平均は16400円割れまで下落しました。21日には日銀の金融政策決定会合で発表された新たな金融緩和策が好感され株式市場は急騰しました。しかし、同日夜にFRBが追加利上げを見送ったことから日米の金利差は広がらないとの見方から円高・ドル安の流れが再燃、休日を挟んだ23日～28日にかけては外需株を中心に下落しました。29日はOPECで原油減産合意したとの一部報道から原油価格が上昇、円安・株高となりましたが、翌30日はドイツ銀行の経営悪化リスクを織り込む形で銀行株中心に下落、日経平均は9月安値水準の16449円で引けました。

業種別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

市場別構成比 ()内は前月比



運用状況

◎9月の主な投資行動

株式等組入比率については、月を通して55%程度を維持し、月末(30日)に一気に71.0%まで引き上げました。15日に日経平均が16400円を割った局面では、輸送用機器などの輸出関連株や銀行業などを買い増し60%強まで同比率を引き上げました。翌16日から21日までの上昇局面では、急上昇した銀行業や陸運業などを一部売却して同比率を50%近辺まで再度引き下げました。特に銀行業は、日銀の金融政策決定会合後の急騰したタイミング(21日午後)で売却しています。30日の日経平均が16500円を割った局面においては、輸送用機器や電気機器など値下がりした銘柄を中心に一気に買い増し、9月末の同比率は71.0%としました。

◎9月のファンド月間リターンとその要因

9月の月間リターンは0.56%の上昇となりました。主な要因は先月末より組入比率を引き上げていた小売業や医薬品、陸運業などが上昇したことなどによるものです。なお、当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIXは▲0.51%下落、日経平均は▲2.59%下落となりました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位5銘柄の紹介

(2016年8月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
三菱UFJフィナンシャル・グループ		国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナルリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
銀行業	6.0%	
東京急行電鉄		1922年設立。東京都、神奈川県での鉄道・バス事業を主体に、不動産事業、百貨店・ホテル事業、などを展開。2022年の創立100周年に向け中長期ビジョンを策定。渋谷再開発やホームドア設置などを通して、東急沿線が「選ばれる沿線」であり続けることを目指す。
陸運業	4.3%	
CYBERDYNE		ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
精密機器	3.3%	
セブン&アイ・ホールディングス		変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指している。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」。
小売業	2.8%	
前田道路		1930年設立。前田建設工業系の道路舗装大手。道路舗装工事と舗装材料であるアスファルト合材の販売を軸に、「ひろく社会資本の整備に貢献すること」を経営理念とする。2020年の東京五輪を見据え、施工体制の強化とアスファルト合材の生産能力拡大を推進している。
建設業	2.6%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。 ● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

2020年にロボットの国際大会「ワールドロボットサミット」を開催することが10月4日に発表されたことや、10月4日～7日にかけて開催された映像・情報・通信の国際展示会「CEATEC(シーテック)ジャパン2016」でも多数のロボットが展示されるなど、ロボットへの注目が日に日に高まってきています。経済産業省の調べで、ロボットの国内生産量は2015年1.6兆円ですが、2020年には2.9兆円、2025年には5.3兆円、そして2035年には9.7兆円にまで拡大する見通しです。ただし成長を牽引するのは、

現在主流の産業用ではなく、人間の能力を拡張・補助することが目的のサービスロボットになると言われています。ソフトバンクの「Pepper」などのように接客や案内を行うコミュニケーション型が有名ですが、その他にも医療や介護福祉、物流、警備、清掃など幅広い領域に普及していくと考えています。ちなみに当ファンドの8月末組入順位3位のCYBERDYNEが開発したロボットHALは医療機器です。詳しくは次回に説明しますが、HALは病気や事故などで歩行困難になってしまった患者さんの脳に対して脚の動かし方を教えることができる世界唯一のロボット治療機器となります。

漫画の「ドラえもん」は、のび太くんの依頼(泣き言?)に応じて、四次元ポケットから「ひみつの道具」を取り出す知能と極めて人間に近い感情を備えた優れたロボットですが、22世紀のデパートでは「ガラクタ」として販売されているようです。そんな「ドラえもん」のようなロボットが現実世界に登場するのはいつになるのでしょうか。たまにはそんな夢のような未来に想いを馳せてみるのも楽しいものです。そして、5-10年先を見据える当ファンドでもこれからこの分野は大いに注目していきます!



受益者向け月次動画ではより詳しくお話しています。

運用部 シニアアナリスト 鎌田 聡

POINT (ザ・2020ビジョンの寄付のしくみ)

コモンズ投信では、「ザ・2020ビジョン」を通じて、パラリンピック関連(障がい者スポーツ)のチャレンジャーを応援しています。<http://www.common30.jp/fund2020/point.php>

第1回応援先として(特)日本視覚障害者柔道連盟(<http://judob.or.jp/>)を選ばせていただき、こちらの月次レポートでは毎月、同連盟と連携して視覚障害者柔道のご紹介をさせていただいています。

おめでとうございます!!!

リオ・パラリンピック2016で、日本視覚障害者柔道 メダル4つを獲得!

9月8日(木)から10日(土)の3日間開催されたリオデジャネイロパラリンピック柔道競技。会場となったカリオカアリーナは連日満席。最終日のチケットは大会開会前から完売状態の注目度でした。36ヶ国131人(男子76名、女子42名)が参加し、日本は、男子5階級、女子4階級にエントリーしました。結果、男子では、60kg級の廣瀬誠選手が銀メダル、66kg級の藤本聡が銅メダル、100kg級の正木健人選手が銅メダル、女子の部では、57kg級の廣瀬順子選手が銅メダルを獲得し、他5名の選手も大健闘でした!観客席から応援していたサポートチームも含め、本当にチームワークの良い日本選手団でした!監督や選手の帰国後のインタビュー、是非こちらからご覧ください。

<http://www.parasapo.tokyo/news/74/> 2020年に向けての更なる活躍が楽しみです!



POINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。<http://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
ザ・2020ビジョンファンド説明&運用報告会	10月15日(土)	13:30~15:00	福岡県福岡市(アクロス福岡)
	10月19日(水)	19:00~20:30	石川県金沢市(石川県女性センター)
	10月22日(土)	13:30~15:00	愛知県名古屋市(オフィスパーク名駅プレミアホール)
ザ・2020ビジョン運用報告会	10月16日(日)	13:30~15:00	大阪府大阪市(AP大阪梅田茶屋町)
	10月21日(金)	12:30~14:00	東京都千代田区(船井セミナールーム)
日本株ファンドで成功する長期投資入門 (ザ・2020ビジョン入門セミナー)	11月22日(火)	19:00~20:30	東京都中央区(カフェサルバドルビジネスサロン)
	11月23日(水)	13:30~15:00	大阪府大阪市(エルおおさか)

◎糸島孝俊メディア出演情報

日付	時間	メディア	備考
10月13日(木)	22:00~23:00	BSジャパン「日経プラス10」	インザマーケットのコーナーに生出演
10月27日(木)			
10月28日(金)	12:25~14:45	日経CNBC「昼エクスプレス」	ゲストコメンテーターとして生出演

◎「ザ・2020ビジョン」3周年プレ企画

「ザ・2020ビジョン」は12月に3周年を迎えます。それに向けて様々な企画をご用意しました!詳細は順次、弊社ウェブサイトに掲載して参ります。ご注目ください!

第1弾

10月17日(月)~12月20日(火)

ザ・2020ビジョン 買付&新規つみたて&紹介キャンペーン

第2弾

11月27日(日)

<受益者限定>ファンドマネージャーと行くサイバーダイナスタジオ訪問ツアー!

第3弾

12月14日(水)

キャンペーン対象者限定 糸島トークイベント開催!豪華ゲスト登場!



販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○	
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	<p>■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)</p> <p>03-3221-8730</p>	<p>■ウェブサイト</p> <p>http://www.common30.jp/</p>
	<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	
<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>		